

令和6年度第2回砺波市行政改革市民会議会議録（要旨）

1 開催日 令和7年3月17日（月） 午後2時57分～4時19分

2 場 所 砺波市役所 本館3階 大ホール

3 出席者 <市民会議委員 13名>

大西会長、上田委員、老委員、堅田委員、下保豊秋委員、下保学委員、河合委員、川瀬委員、齋藤委員、島田委員、武田委員、千々石委員、堀田委員

<市当局・事務局 18名>

夏野市長、齊藤副市長、白江教育長、島田企画総務部長、横山福祉市民部長、坪田商工農林部長、構建設水道部長、嶋村砺波総合病院事務局長、安地教育委員会事務局長、小西庄川支所長、佐伯企画政策課長、二俣総務課長、篠島市民生活課長、三部総務課行政係長、飯田総務課人事係長、福島企画政策課情報政策班副班長、上田財政課財政係長、池田総務課行政係主任

4 説明及び協議内容

- (1) 砺波市行政改革報告書について説明を行った。
- (2) 砺波市行政改革推進計画の進捗状況について説明を行った。
- (3) 提案型事業評価対象事業の取組状況について説明を行った。
- (4) 砺波市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版について説明を行った。
- (5) 令和7年度行政改革検討事項について説明を行った。
- (6) 砺波市デジタル化推進計画の進捗状況等について説明を行った。
- (7) 新庁舎整備事業について説明を行った。
- (8) (1)～(7)を踏まえて、意見交換を行った。

5 意見・協議の概要

【委 員】

内部打合せ資料のペーパーレス化により経費削減されたとあるが、どの程度削減されたか数値として伺いたい。

【市】

令和5年度にタブレット端末を導入し、令和6年度は更に活用してきたところである。令和5年度と令和6年度のコピー用紙の使用枚数を比較すると7パーセントの減少、枚数で17万枚の減少となっている。

【委 員】

公共施設等の照明のＬＥＤ化に取り組んでいるとあるが、本庁内ではどの程度進んでいるか伺いたい。

【 市 】

本庁内におけるＬＥＤの設置状況は全体の３割程度である。新庁舎建設もあることから、現庁舎においては、安定器の故障や電球が切れたところからＬＥＤに交換をしている。

【委 員】

クマ被害防止対策事業について、ＡＩカメラは何か所設置しているのか、また、どのような流れで市民に情報が届くのか伺いたい。

【 市 】

このＡＩカメラはクマが出没して住民に危害を加えそうな場所を選んで設置している。ＡＩによりクマか他の動物かを見分ける機能が搭載されており、カメラに映る動物がクマであると認定されると、あらかじめ登録している住民の方に対して、クマの写真や出没した時間と場所を通知するものである。

現在２４台設置しており、内訳として、砺波市所有が１２台、実証実験で設置したものが２台、残り１０台は富山大学が動物自然科学の研究のため設置している。

【会 長】

大学においても、この研究に携わっている学生のスマートフォンにクマ出没の通知がすぐ届いており、迅速に情報が届くことを実感しているほか、ＡＩカメラでクマの様子をしっかりと捉えられていることから、とても効果的な取り組みになると思う。

【委 員】

砺波市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について、空き家登録バンクの登録件数を増やすことを指標として掲げているが、このことがどのように省エネに繋がるのか伺いたい。

【 市 】

本市における空き家は現在６００件程度であり、そのうち空き家登録バンクに登録されているのは２００件程度である。登録件数を増やすことで、空き家の利活用に繋がるものと考えている。

新たに住宅を建てるのではなく、空き家をリフォームし利活用することで、住宅建築に係るエネルギーを減らし、カーボンニュートラルの実現に繋げていくものである。

【委 員】

砺波市地球温暖化対策実行計画の取り組みを行政、事業者、そして市民が自覚、認識することは大事なことであると思う。この計画を各地区自治振興会や自治会等の会議で説明してはどうか。市民の理解を深める取り組みをぜひ行っていただきたい。

【 市 】

市民の方に知っていただき、この取り組みを前向きに捉え進んでいくことが大事であると考えているため、出前講座や各地区の会合等に出向かせていただき、説明をしたいと思う。

【委 員】

市民サービスに関連する部分に関してデジタル化を推進していく場合に、受け手である市民がうまく対応できるのか若干疑問がある。このような状況に対応していくための勉強会の開催等何か検討していることがあるか伺いたい。

【 市 】

昨年9月に市広報紙で特集記事を掲載するとともに、ホームページにおいても周知をしているほか、行政出前講座においてスマートフォンの活用方法に係る講座を設けており、行政手続におけるデジタル化に伴いどのようなことができるのかといったことを発信している。

また、新年度からDX推進課を新設し、デジタル化の取組みが市民の方にさらに見えるよう取り組んでいきたい。

【委 員】

安否確認支援ツールの導入支援について、事業の詳細を伺いたい。

【 市 】

昨年の能登半島地震の際に、梅檀山地区等の先進地区において安否確認等の機能をもったスマートフォンアプリを活用し、迅速な安否確認ができたという報告を受けたことから、同様の機能をもったアプリを導入するための費用を補助する制度を今年度から実施している。

具体的には「安否確認機能」と「情報受発信機能」を併せ持つ「安否確認等支援ツール」を導入された場合に、初期費用と月額利用料の1年分に対して補助するものである。

【委 員】

新庁舎の整備場所である富山県花総合センター敷地の取得費用や建物等既存設備の撤去等に係る費用はどのようなになっているか伺いたい。

【 市 】

敷地取得費用や建物等既存設備の撤去等に係る費用については、令和7年度に県と協議することとしている。

【委 員】

婚活事業を積極的に行い人口増加に向け取り組んでほしい。また、市広報紙に婚活専門員に相談してくださいとあるが、婚活専門員とはどのようなことをされているのか伺いたい。

【 市 】

婚活専門員は婚活のプロとして活動されている方をアドバイザーとして依頼しており、結婚を希望する本人やそのご家族の相談に対してアドバイスを行っている。

婚活を希望する方はまず市に登録いただくが、現在男女合わせて50人ほど登録いただいている。月1回程度その方々のマッチングを行っているほか、交流会等出会いの場を提供するイベントも開催している。

今後もこのような取り組みを強化していきたい。

【委 員】

インフラの老朽化等が都市部において問題となっているが、令和4年に旧庄川町の区域が過疎地域の指定を受けたことを活かして、インフラ関係の整備等を検討しているのか伺いたい。

【 市 】

過疎債に関しては現在庄川水記念公園再整備や既存の道路等における維持管理等に活用しているほか、インフラと言えば道路関係が思い当たるかと思うが、新たな道路整備というよりも、現状のものを維持管理していくことが現在求められていますので、今後もインフラの適正な維持管理に努めてまいりたい。

【市 長】

委員の皆さんには様々なご意見等をいただき感謝申しあげる。

デジタル化については進めていくことが重要と考えているが、一時的に、とても経費がかかるということをご理解いただきたい。

新庁舎移転については、現在の綺麗な景観を残しつつ雰囲気を変えないように新庁舎整備を進めるなど、市民からのご意見を考慮して進めていきたい。

本市は県内4番目の人口となっているが、これも「選ばれるまち」として取り組みを進めてきた結果によるものと感謝している。今後も、住宅取得や三世代同居に対する支援等を実施することで社会増に繋げるとともに、市や各団体などの様々な組織が束となって婚活事業をさらに活発にすすめるなど、人口増加に向けて取り組んでいきたい。